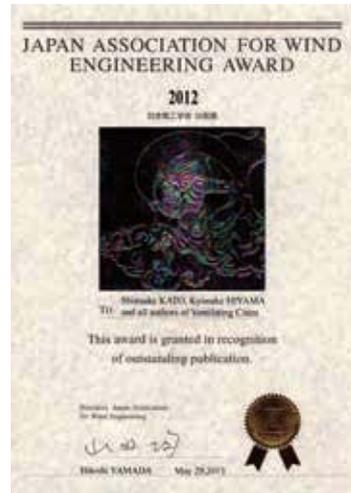


5月 環境学部 リジャル・ホーム・バハドゥル准教授が日本風工学会出版賞を受賞

環境学部 環境創生学科 リジャル・ホーム・バハドゥル准教授（他15名）が、風工学の振興と発展に顕著な貢献をした出版物の著者に贈られる平成24年度「日本風工学会出版賞」を平成25年5月29日に受賞しました。書籍名は「Ventilating Cities: Air-flow Criteria for Healthy and Comfortable Urban Living」であり、2012年にSpringer社から出版されました。執筆担当は第3章の「屋外の適応的快適性と熱的快適性への風の効果」です。



賞状

5月 環境経営学会において小野雄也君(環境学研究科博士後期)、高野可奈子さん(環境情報学部卒業生)、飯田惣也君(環境学研究科修士課程)が受賞

2013年5月25,26日に環境経営学会が本学横浜キャンパスで開催され、多数の研究発表がされました。そのなかで本学大学院生と卒業生が特に優秀な研究発表を行ったものと高く評価され、以下の方が受賞しました。

【最優秀賞】(口頭発表部門) 小野雄也君(環境学研究科博士後期課程) 発表タイトル「汚染に着目したウォーターフットプリント原単位データベースの開発」

【優秀賞】(口頭発表部門) 高野可奈子さん(環境情報学部卒業生) 発表タイトル「小学校教育において東日本大震災が与えた環境教育の現状と問題」

【最優秀賞】(ポスター発表部門) 飯田惣也君(環境学研究科修士課程) 発表タイトル「自然栽培による夏野菜のウォーターフットプリント」



左から飯田惣也氏、環境学部 伊坪徳宏教授、小野雄也氏



7月

メディア情報学部 藤井研究室卒業生が電子情報通信学会CQ研究会で「2012年度奨励賞」を受賞

2013年7月11日に開催された電子情報通信学会コミュニケーションクオリティ(CQ)研究会において、2013年3月に環境情報学研究科を修了した松本頼明君が「2012年度奨励賞」を受賞しました。対象論文は2013年3月に同研究会で発表した「双方向映像コミュニケーションの品質評価に関する一検討」です。



賞状

9月

メディア情報学部 岡部大介准教授が日本認知科学会第1回野島久雄賞を受賞

メディア情報学部 社会メディア学科 岡部大介准教授が日本認知科学会第1回野島久雄賞を受賞しました。本賞は、人と人、人とモノ、モノを介したネットワークにかかわる研究領域で、「面白い!」と思える卓越した認知科学的研究を行った若手・中堅研究者を顕彰することを目的として2013年度に設置されました。9月13日、玉川大学で開催された日本認知科学会第30回大会において、表彰式、ならびに本賞の紹介セッションが行われました。

岡部准教授の受賞理由は以下の通りです。

受賞理由：岡部氏は、プリクラを用いてコミュニケーションをする女子高生、モバイル機器を纏うことで街の中に自分の居場所を作る人々のような身近なコミュニティや空間を対象として研究を進めてきた。現代社会における人々の生態を、フィールドワークやインタビューを重ねて収集した重厚なデータによって見事に記述している。認知科学に掲載された論文では、男性同士の恋愛を扱う漫画を好んで読む腐女子（婦女子の自嘲的なパロディ）を対象とした。腐女子は、社会的に普通の女性よりも下位であると自認することから、腐女子であることを不可視化するが腐女子コミュニティでは、その不可視化実践をネタとして可視化することにより、アイデンティティを構築していた。この論文は、インターネット上に公開されている『認知科学』の中で最も多くダウンロードされたものであり、会員外に広く読まれたと考えられる。認知科学の枠を超えて興味を持たれるテーマに着目し、その成果を普及させた岡部氏が、次に何に着目してどのような人々の実像を読み解くのか、またこれらの成果からどのような「より普遍的な、人の認知的過程に関する知見」に新たな示唆をもたらすのか、期待させられる研究者である。



受賞の様子（右がメディア情報学部 岡部大介准教授）

9月 環境学部 大西暁生准教授が共著者として
土木学会地球環境委員会地球環境技術賞を受賞



賞状

環境学部 環境創生学科 大西暁生准教授（他3名）が、共著者として第21回地球環境シンポジウムにおいて発表した論文の研究成果を讃えられ、土木学会地球環境委員会表彰規定により平成25年度地球環境技術賞を受賞しました。論文名は「奥岡桂次郎, 大西暁生, 白川博章, 谷川寛樹：低物質・低炭素型都市圏構築に向けた最適な人口規模と人口分布の検討, 地球環境シンポジウム講演集, Vol.21, pp.235-241, 2013.」です。

11月 メディア情報学部 梅原英一教授が経営情報学会より
2013年度論文賞を受賞

メディア情報学部情報システム学科 梅原英一教授が、一般社団法人経営情報学会より2013年度論文賞を受賞しました。

論文名は「情報システム障害に関するITベンダーとの契約におけるゲーム理論による分析, Vol.21, No.1, 2012.」です。

この論文では、企業とITベンダーの契約に焦点を当て、「業務の丸投げ」の影響を分析しました。

最近でも、金融機関がITベンダーに業務を丸投げしたことにより、詐欺事件を防ぐことができなかったり、情報システムの障害の対応が遅れた結果、利用者に不便をかけた事例などが報告されています。

そこで、企業とITベンダーの契約における損害賠償条項を非ゼロ和2人ゲームでモデル化し、企業とITベンダーそれぞれの障害削減努力を戦略として表現しました。

その結果、企業がTFTなどの上品で報復的な戦略を採用すれば、ITベンダーは障害削減努力をする可能性があることを示しました。

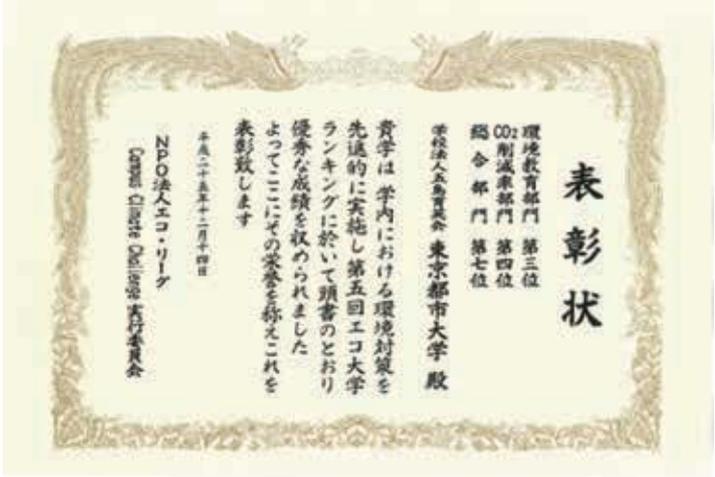
そのためには、企業はIT部門に外部委託管理能力を有する人材を配置し、その能力を向上させる必要性を示しました。



メディア情報学部 梅原英一教授

12月 東京都市大学横浜キャンパスが第5回エコ大学ランキングにて総合7位入賞、ほか部門上位入賞

昨年2013.12.14に、第5回 エコ大学ランキングが発表され、東京都市大学横浜キャンパスは、総合7位に入賞しました。環境教育部門、CO2削減率部門においても、上位の成績をおさめています。



【総合】7位 (私立大:2位)

【環境教育部門】3位 (私立大:1位)

【CO2削減率部門】4位 (私立大:4位)

今後も日本で初めてISO14001の認証を取得した大学として、さらなる向上を目指していきます。

1月 メディア情報学部 広田すみれ教授が2013年度日本心理学会学術大会優秀発表賞を受賞

2013年度日本心理学会の学術大会優秀発表賞及び学術大会特別優秀発表賞において、メディア情報学部社会メディア学科 広田すみれ教授の「地震の確率予測を人はどう判断しているか？ —ニューメラシーによる違い—」が優秀発表賞を受賞しました。

なお本年度は日本心理学会第77回大会ポスター発表で選考対象となることを希望した発表605件について代議員及び名誉会員による会場審査と論文集審査が行われ、10件に特別優秀発表賞を、21件に優秀発表賞が授与されました。

*1)日本心理学会ホームページ
<http://www.psych.or.jp/prize/conf.html>

*2)心理学研究 2014年第84巻第6号 pp.641-643.



メディア情報学部 広田すみれ教授